

2018年度 活動計画

2018年8月23日(木)

**於:オープンソース・ソリューション・テクノロジー株式会社
会議室**



2018年度 運営組織

会長	オープンソース・ソリューション・テクノロジー株式会社 小田切 耕司
副会長	株式会社オージス総研 八幡 孝
理事	SRA OSS, Inc. 日本支社 稲葉 香理
監事	TIS株式会社 溝口 則行
事務局長	オープンソース・ソリューション・テクノロジー株式会社 寺井 亜貴子
事務局	オープンソース・ソリューション・テクノロジー株式会社 担当:寺井 亜貴子、今井 啓 TEL: 03-6417-0753 Emai: info@OpenAM.jp

◆ 会員状況

▼ 正会員企業

14社

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社
株式会社インテック
SRA OSS, Inc. 日本支社
株式会社オージス総研
オープンソース・ソリューション・テクノロジー株式会社
株式会社キューブテック
サイバーコム株式会社

チエル株式会社
TIS株式会社
東芝デジタルソリューションズ株式会社
株式会社野村総合研究所
富士通株式会社
株式会社ブロードリーフ
三菱電機インフォメーションシステムズ株式会社

▼ 一般会員

8社

アルファテック・ソリューションズ株式会社
株式会社エスシーシー
株式会社EvangTech
かもめエンジニアリング株式会社

有限会社グリーンフラグ
株式会社コネクティブ
株式会社デジタル・ヒュージ・テクノロジー
テニック株式会社

◆ 活動コンセプトの確認

- **OpenAMのコンソーシアムによる開発・保守の継続**
 - ソースコードをコンソーシアム総会として保持・公開・メンテナンスしていく
- **OpenAMの普及・発展**を目的
- 各社のソリューション紹介だけではなく、事例の公開により**OpenAMのメリット**や、**OpenAM使用時の懸念点の解決方法**などを中心に、**コンテンツ**を作成し、公開(発信)していく。

◆ 最近の話題・問題

ForgeRock社がOpenAMのソースコードを非公開とする
海外でForkしたり、ソースコードの公開サイトが出来る

OSSTechが保持しするOpenAMのソースコードを公開
<https://github.com/osstech-jp/openam>

OSSコンソーシアムとしてソースコード公開
<https://github.com/openam-jp>

オージス総研とOSSTechのソースコードをマージ

(今後<https://github.com/osstech-jp/openam>は閉鎖)

日本での不安を解消し、OpenAMの開発継続をアピール

日本語での情報発信も積極的に行う

脆弱性などの不具合修正情報も公開(IPAやJPCERTへの通報・連携)

ソースコードからのビルド方法を公開予定

バイナリーの配布はどうか？

2018年度 活動方針

□ OpenAMのソースコード公開・メンテナンス・開発継続はOSSTechとオージス総研を中心に行う

<https://github.com/openam-jp>

コンソーシアムのページからも情報発信をする(ビルド方法など)

□ 技術Tips(PDF形式公開)をWGで実施しWeb、Facebook、Twitterに掲載する。

→コンテンツリストは次ページ参照

記事のライセンスは、Creative Commons 4.0 のBY-NC-SA (表示、非営利、継承)

記事のレビューにメーリングリストを使う

□ 会員事例を集め資料化する。

→追加事例を募集する

□ 資料化されたアウトプットをWebやチラシとして公開/配布する。

→<http://www.openam.jp/category/member/products> を改訂

□ 技術セミナーおよびビジネスセミナーを上/下半期に各1回のペースで実施する。

→ビジネスセミナー、技術セミナー



技術TIPS予定コンテンツ

掲載順	タイトル		公開予定時期
	OpenAMインストール手順 (OpenAM + Tomcat + Active Directory)	オージス総研	
	Office365 (ADFS) との認証連携設定	オージス総研	
	WindowデスクトップSSO+代理認証を利用したSSO環境の構築	チエル	
	OAuth認証モジュール設定手順	OSSTech	
	OpenID Connectモジュールのざっくり検証結果	オージス総研	
	ワンタイムパスワード(HOTP)を使った二要素認証の設定	オージス総研	
	証明書を使った二要素認証の設定	オージス総研	
	位置情報を考慮した多段階認証の実現	NRI	
	OpenAM XACMLの利用法	富士通	
	認証モジュール開発の超入門編	オージス総研	

活動の活発化

- **メーリングリストを使っての活動の活発化**
 - board@openam.jp = **理事会**
 - info@openam.jp = **事務局**
 - staff@openam.jp = board + info
 - OpenAM-event-member = **イベント通知用**
 - OpenAM-regular-member = **正会員**
 - OpenAM-general-member = **一般会員**
 - OpenAM-tech = **開発WG**
 - OpenAM-users = **ユーザーWG**
- ◆ **会員の皆様、積極的に投稿お願いします。**
 - ◆ **自社Webでの技術情報や事例紹介など**
 - ◆ **有用なものはopenam.jp からリンクを張る**

2018年度 活動計画

	活動	時期	詳細
1	WEBサイト	通年	<ul style="list-style-type: none"> ・技術Tips情報ページの運用 →開発WG各社が得意とする分野について、持ち回りでコンテンツを提供し、継続できるような運用とする ・Facebook (http://www.facebook.com/openam.conso)、Twitter (ハッシュタグ #openam_jp)の運用の活性化 →投稿内容:会員各社のセミナー情報など
2	イベント	通年	<ul style="list-style-type: none"> ・各社のイベント時にコンソーシアム資料を配布 ・JICS : Japan Identity Cloud Summit 2017協賛(ロゴのみWEB掲載、集客協力)
3	ワーキンググループ		
	開発WG	年3回	・定期的な情報交換会の実施(4 or 6ヶ月に一度)
		通年	・技術Tips情報ページのすりあわせ等を随時実施
	ユーザWG	年2回	・定期的な情報交換会の実施
		通年	・事例資料の作成、更新
	合同ミーティング	年2回	
4	セミナー	年2回	・技術情報、事例セミナーの実施(秋、春の2回開催を予定)
5	その他	随時	・他の団体(※1)との連携や共催セミナー開催など

※1:医療分野認証基盤整備コンソーシアム、オープンソースビジネス推進協議会(OBCI)、日本OSS推進フォーラム、情報サービス産業協会(JISA)など

セミナー 計画案

時期	活動項目
開催日程	
会場規模	
講演内容	
対象層	ビジネス、経営者、営業向け
その他	懇親会あり

時期	活動項目
開催日程	
会場規模	
講演内容	
対象層	技術者向け
その他	懇親会あり

2018年度 活動スケジュール

時期	活動項目
6月	
7月	
8月	総会
9月	
10月	開発WG
11月	
12月	
1月	技術セミナー
2月	
3月	
4月	開発WG、ユーザーWG
5月	

OpenAM
コンソーシアム

<https://www.openam.jp/>